



まなびやまと



No.23

平成 25 (2013) 年 3 月
大和市教育委員会

☆感じた思いを大切に芸術に親しむ☆

自分の 友だちの
心の声に耳を傾けて
対話による美術鑑賞
大和市立渋谷小学校

12月3日(月)、渋谷小学校5年生を対象に、新宿にある損保ジャパン東郷青児美術館で、「対話による美術鑑賞」の授業が行われました。

「対話による美術鑑賞」とは、美術の知識を身に付けるだけではなく、一人一人に考えることをうながし、様々な意見を引き出しながら、作品の見方を深めていく鑑賞方法です。考え続ける力、人の意見を聴く力、多角的に思考する力が養われるとされています。

市と市教育委員会では、感性を高め豊かな情操を養うとともに、思考力や想像力、コミュニケーション力などの育成を目的に、美術教育の一環として「対話による美術鑑賞」の導入を段階的に進めています。市は、この活動を支援するため、NPO法人芸術資源開発機構(ARDA)とともに、ボランティア団体「やまとアート・シヤベル」のスタッフを育成しました。スタッフは、子どもの意見などを引き出す重要な役割を担っています。

美術館での授業に先立ち、11月29日(木)には、スタッフが渋谷小学校を訪れ、事前授業を行いました。「絵はどんな見方をしてもいいです。正しいとか間違っていない

とかはありません」というお話で授業が始まりました。

初めに、グループに分かれて、美術作品が載っている「アートカード」を使った「なつとくゲーム」をしました。机の上に置かれた1枚のカードを起点に、自分に配られたカードの中からつながりのある1枚を見つけ、順番に置いていくゲームです。「家が描かれているのが似ている」「空の水色が似ている」とつながりを述べて、カードを置いていきました。

次に、「ものがたり作りゲーム」をしました。3枚のアートカードを使ってお話を作っていくゲームです。最初は、少し緊張気味だった児童でしたが、「それいいね」「おもしろいね」と、自分の考えがスタッフや友だちに受け入れられるうちに、とても嬉しそうな表情に変わっていききました。受容されることで、発想が膨らみ、会話も弾んでいきました。

それから、電子黒板に映されたグランマ・モーゼス作『古い台所』などの絵を見て、意見交換をしました。「3月頃に春が早く来るようにパーティーをしているところだと思う」「これは舞台で、まわりの紫色は劇場のカーテンじゃない



かな」などと自由に想像し、更に友だちの考えに影響を受け、会話が次々と続いていきました。「絵の中にお話がいっぱい詰まっている」と感想を話していました。

この事前学習を受け、児童は、3日に同美術館を訪れ、各グループにスタッフがつき、絵画作品を鑑賞しました。事前授業で鑑賞した「古い台所」を見た児童は、「本物の方が賑やかで楽しい感じがする」「色が鮮やかで生き生きしている」と本物が伝えるものを感じとっていました。元永定正作「いろいろいきで好き」「水の流れを表していると思う」と、ゴッホ作『ひまわり』では、「色の感じが暖かそう」「絵が3Dみたい」「まわりの枯れたひまわりがあるから真ん中のひまわりがきれいに見える」と、スタッフや友だちとの対話を通して考えを分かち合い、互いの考えを深め合っていました。鑑賞を終えた児童は、「本物は迫力がある」「好きな画家が見つかったから、他の作品も見てみたい」「自分の考えを友だちが納得してくれて嬉しかったし、友だちの考えが聞けて楽しかった」と感想を話していました。

「対話による美術鑑賞」は今年度3校で実施されました。来年度以降、他の学校でも順次行っていく予定です。



☆読書の力で育つ つながる学校・家庭・地域☆

本の世界への誘い 読書活動の推進 大和市立文ヶ岡小学校

10月10日(水)、文ヶ岡小学校では、後期始業式で、全校児童を対象とした読み聞かせをしました。

照明が落とされると、体育館の大きなスクリーンに絵本の美しい画像が映し出されました。ピアノの美しい旋律が館内に響き渡り、読み聞かせが始まりました。



奏でられる音に重なるゆつたりとした優しい朗読の声が、児童を壮大なお話の世界に誘います。

演じているのは、3年前に発足したPTA読み聞かせボランティア「にじのひろば」の方々で、いつもは昼休みの時間を中心に、児童に読み聞かせをしています。今年度からは、低学年の朝読書の時間にも読み聞かせを始めました。児童の読書の世界を広げていきたいとアイディアを出し合い、音楽と融合させた読み聞かせをすることにしました。その曲は、ピアノストをされているメン

バーの方が創作されました。朗読と演奏を合わせるために何度も練習を重ねたそうです。児童は、「曲が話の内容に合っていて、場面がよく想像できた」「スケールの大きな感じがした」と、感想を話していました。

同校では、他にも、児童が「読書通帳」という冊子に読書記録を書く、先生方のお薦めの本の紹介の掲示をする、廊下の片隅に「たたみ☆DE☆読書」という畳の上で本を読めるコーナーを作るなど、読書活動推進の取り組みをしています。また、第2・4水曜日を、「文ぶん小しょう家か読よみの日」とし、ノーテレビ・ノーゲームデーにして、家族で本を読むよう家庭に呼びかけています。第2・4水曜日の放課後は、図書室を保護者にも開放しています。

これらの取り組みにより、児童の読書量が増えてきています。放課後の図書室では、親子で本を読んだり、借りたりする姿も多く見られるようになったそうです。



第1回 大和市子ども読書フォーラム 大和市教育委員会指導室

10月20日(土)、大和市保健福祉センターで、約230名の参加者のもと、第1回大和市子ども読書フォーラムが開催されました。このフォーラムは、学校図書館教育の取り組みを市民に周知し、子どもの読書活動の意義について理解を深めることで、学校・家庭・地域が連携して読書活動を推進できるようにすることを目的としています。

第1部では、初めに、第1回大和市子ども読書感想文コンクールの表彰式が行われ、応募総数5922点の中から優秀賞に選ばれた15名の受賞者が表彰されました。さらに、昨年度の青少年読書感想文全国コンクールにおいて、県や国で優秀な成績を収めた2名に特別賞が贈られ、その作品が朗読されました。次に、教育委員会指導室から、図書室のリフォームや図書館司書の導入、「やまと学校 読書力アップ・チャレンジプロジェクト」、各校の読書活動について報告されました。大和市立図書館からは、「こどもに読書のよろこびを」をスローガンに掲げた「こども読書力向上プラン」



や子ども向け事業について、報告がされました。

第1部終了後には、ロビーにて、市民ボランティアによるすばなしと大型絵本の読み聞かせも行われました。ロビーには、大和市立図書館の読書活動推進の取り組みや、第1回大和市子ども読書感想文コンクール優秀賞の作文、市内高校生が作成したお薦めの本の紹介などが展示されていました。



第2部では、「本を読む子は必ず伸びる!」という演題で、学校図書館アドバイザー・五十嵐絹子さんにご講演いただきました。「学校図書館が、子どもたちに本を読む喜び、学ぶ喜びを伝える場となれば、教育が変わる。読書は生きる力をはぐくむものです」というお話がありました。参加者からは熱心な質問があり、学校・家庭・地域が一体となって、子どもの読書活動推進について考える機会となりました。

読書活動の推進は、大和市学校教育基本計画の重点施策の一つでもあり、今後も家読うちよみのよびかけなど様々な取り組みを進める予定です。

☆外部人材の協力を得て☆



お互いを知ろう

仲間づくり教室

大和市立南林間小学校

9月28日(金)

南林間小学校6年生を対象に、NPO法人神奈川県スクールカウンセラー協会の確井久美子さんを講師として、コミュニケーション力を高めるための「仲間づくり教室」が開催されました。3つのエクササイズを通して、仲間づくりのヒントを得る学習をしました。



1つ目のエクササイズは、「The 整列」です。各クラスごとに誕生日順や名前順に並び、その速さを競います。自然と互いに質問し合ったり、「ここにきて」と声を掛け合ったりしていました。



2つ目のエクササイズは、「自己発見」です。「優しい」「みんなをひっぱる」など性格を表す24種類の言葉のリストの中から、自分自身にあてはまると思うものを3つ選び、その後、グループのメンバーからも

3つ選んでもらいます。「自分のイメージと違うものが選ばれて意外だ私ってがんばりやかな」「友だちづきあいがいい」を選んでくれて嬉しい」と照れながらも嬉しそうに感想を話していました。

3つ目のエクササイズは、「私のイメージあなたのイメージ」です。「春っぽい」「秋っぽい」など対になる語を用いて、グループのメンバーに、自分がどちらに近いかとその理由を話してもらいます。自分が抱いている自分との違いに驚き、会話が弾んでいきます。どのグループからも楽しそうな歓声が上がりました。



児童は、「友だちとたくさん話することができて嬉しかった」「自分が思っていた自分と違うことを言われて驚いた」「おとなしいと思っていた友だちが、中心となって話し合いを進めていたのが意外だった」と感想を話していました。

確井さんは、「エクササイズを通して、多様な見方・考え方にふれて気づいた自分や友だちの新たな一面を、仲間づくりに役立てて欲しいです」と話していました。

音楽に包まれて

日本フィルハーモニー

大和市立渋谷中学校

11月19日(月)、渋谷中学校で、文化庁が行う「子どものための優れた舞台芸術体験事業」として、日本フィルハーモニー交響楽団による演奏会が行われました。この事業は、児童・生徒に、本物の舞台芸術にふれる機会を提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的として行われています。

第1バイオリンとのチューニングの後、演奏が始まりました。ビゼー作曲オペラ《カルメン》より「闘牛士の行進」です。ひんやりと冴え澄んだ空気に軽快なテンポで旋律が奏でられ、生徒の気持ちが一気に曲に集中しました。ベートーベン作曲交響曲第5番《運命》より第1楽章など、馴染みのある全10曲が演奏されました。生徒はリズムをとりながら食い入るように



オーケストラを見つめ、演奏に耳を傾けていました。

指揮者の方から、オーケストラの構成などの説明がありました。各楽器の音の出る仕組みの説明では、それに合わせて、各パートの方から、楽器の音色が紹介されました。また、2名の生徒が代表としてオーケストラの指揮をしたり、杉本竜一作曲の「BEETHOVEN」と「渋谷中学校校歌」を、オーケストラの生演奏のもと、全校生徒で合唱したりと、貴重な体験もしました。

「生のオーケストラの演奏はなかなか聴けないので、貴重な体験ができました。聴いたことがある曲であっても、生の演奏は迫力が違った」「オーケストラの生演奏で歌えたことはとても光栄だ」「クラリネットの音色が素晴らしかった。吹奏楽部で担当しているので、頑張りたと思った」と感想を語っていました。

校長先生は、「一流のものにふれ、体感することは、人生に影響を与える。今日の公演は、子どもたちにとって貴重な体験となった」と話していました。



おらが学校
**「本物のS中生」
 を目指して**
 大和市立下福田中学校

ホタルの郷 敷地内でホタルが飛び交い、結び橋から引地川のカルガモ親子の姿を見ることができ、晴れた日には富士山を遠望できる学校、それが下福田中学校です。生徒数383名、11クラスの小規模な学校ですが、その小規模さを生かした特色ある活動を行っています。

伝統のYOSAKOI

「せーのー!」「はー!」「腰を落として!腕は下げない!」…。7月になると、体育館で、武道場で、グラウンドで、大きな声が響き渡ります。異学年交流の一環として上級生が下級生にYOSAKOIを教えています。夏休み前の発表会の後、9月の運動会や10月のバザーでも披露され、市内開催の渋谷よさこいにも参加しています。



S中祭



10月は合唱のシーズンです。朝・放課後に、校舎は歌声に包まれます。クラス間の交流会が盛んで、お互いを見合い、批評し合います。S中祭がその発表の場です。全ク

ラスの曲を全校生徒が、多くの保護者とともに聞くことができるというのが小規模校の長所であり、下級生にとつて直接聞いたその曲が来年の目標になっていきます。

創立30周年記念式典

本校は今年度創立30周年を迎えました。「感謝の気持ちを故郷S中へ30年分のありがとう〜」は、そのスローガンです。10月の記念式典では、美術部のデザインによる巨大な大漁旗の下、「YOSAKOI」と全校生徒による三部合唱の「下福田中学校校歌」が披露されました。

小友中学校との交流会

8月に、岩手県陸前高田市立小友中学校との交流会を開催しました。被災した市から3年生14名が本校を訪れました。災害にも負けず、健気にたくましく生きる中学生の姿、小友中学校の校長先生の「忘れてしまいたい本当に多くの記憶があるが、忘れてはならないことだっただけであるはずだ」という言葉。今、中学校に来て、普通に生活していること、それこそが、奇跡的で、有り難いことであるということを教えていただきました。

本物のS中生に

中学校に入学したS中生は、こうした様々な体験を通して、何事にも前向きに一生懸命取り組み、感謝と思いやりの気持ちを持った「本物のS中生」に成長し、卒業していくのです。

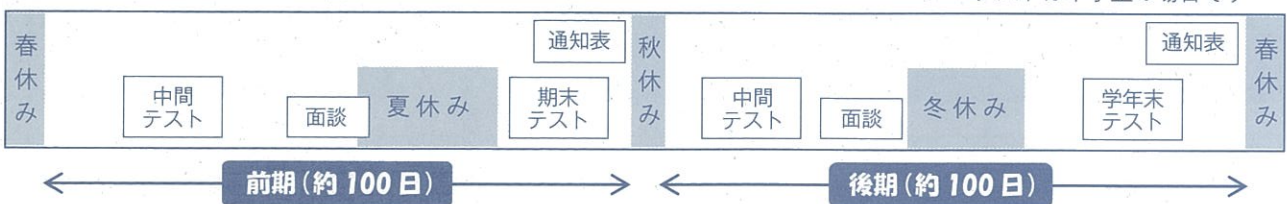
公立小中学校の2学期制を検証しています

大和市立の小中学校では、授業時間数の確保（平成17年度までの3学期制と比べ小学校で約10時間、中学校で約25時間の増）や長期的な子どもの成長を評価していくことなどをねらいとして、平成18年度から2学期制を導入しました。（下の図）

導入から7年間が経過したことから、大和市教育委員会では、現在の2学期制について、学校の教職員・保護者・市民を対象にアンケート調査を実施し、その結果を検証することで今後の参考にしていきます。

<大和市立小中学校の2学期制>

*テストは中学生の場合です



*アンケート調査の結果は、大和市教育委員会のホームページで随時公開します。現在は、昨年実施した小中学校教職員の結果を公開しています。

<ホームページの案内>

大和市教育委員会指導室

【参考】大和市立小中学校 教職員アンケート調査結果「2学期制を総括してどのように考えるか」 H24.7実施

